「松竹大谷図書館ニューズレター」に掲載されている全ての内容の無断使用・転載・配信を禁止します

令和8年11月10日発行

松竹大谷図書館
SHOCHIKU OTANI LIBRARY

演劇・映画の専門図書館

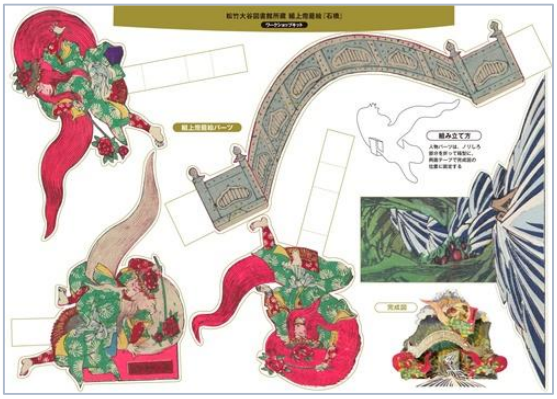
松竹大谷図書館 ニューズレター

No. 333（2026年11－12月）

■「中央区まるごとミュージアム2026」体験型ワークショップ＆講演会開催のお知らせ

当館ではこの度、江戸時代のペーパークラフト「組上燈籠絵」を現代の皆さまにも気軽にお楽しみいただけるよう、令和7年度中央区文化推進事業助成金を活用してリデザインした「現代版ワークショップキット」を開発いたしました。

これに伴い、11月15日（日）に開催される「中央区まるごとミュージアム2026」にて、本キットを使用した特別イベントを開催いたします。イベントは二部構成となっており、第一部では浮世絵研究家の長井裕子氏を講師に迎えた講演会、第二部では組上燈籠絵「石橋」を実際に組み上げる体験型ワークショップをお届けします。ただいま参加申込を受付中です。皆さまのご参加を心よりお待ちしております！



組上燈籠絵「石橋」ワークショップキット（部分）

■ 開催概要 ■日時：11月15日（日）【講演会】13：00～14：00　【ワークショップ】 14：00～15：00
会場：教育センター 視聴覚ホール（中央区明石町12-1）／定員：100名（定員を超えた場合は抽選となります）
材料費：1,000円／名　※当日現金払い／申込フォーム：https://forms.gle/XtdrW8M5pw3mdP9M8

■「まちかど展示館集合イベント」のお知らせ

当館が参画する「中央区まちかど展示館」では、11月15日（日）、銀座三越新館９階テラスコートにて、まちかど展示館集合イベントを開催いたします。

今年は中央区制80周年を迎えることから、「区制80周年」をテーマとして集めた展示コーナーを設けており、当館からは中央区が誕生した昭和22（1947）年に、東京劇場など、区内および周辺の劇場で催された興行の劇場プログラムを展示いたします。新しい区の歴史とともに歩んだ、当時の演劇文化を今に伝える貴重な資料です。ぜひご覧ください！

そのほかにも、まちかど展示館の老舗の逸品や、伝統工芸品の展示、職人による実演コーナーなども。中央区の魅力を一度に楽しめるイベントになっておりますので、お近くにお越しの際にはぜひお立ち寄りください。



日時：11月15日（日）10:00～16:00
場所：銀座三越新館9階テラスコート
（銀座4-6-16）
予約不要、無料

目次

「中央区まるごとミュージアム2026」体験型ワークショップ＆講演会開催のお知らせ	1	新着資料案内	6-7
「まちかど展示館集合イベント」のお知らせ	1	資料提供	7
11-12月展示「俳優 佐田啓二 生誕100年」＆資料紹介「今月の芝居から」	2	新たに資料をご寄贈くださった方々	7
歌舞伎座筋書「歌舞伎タイムスリップ」	2	訃報	7
歌舞伎座で話題！「組上燈籠」展示が継続中	3	公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	8
ナビトモイベント「【特別企画】専門スタッフがご案内する松竹大谷図書館の楽しみ方 ～歌舞伎編～」開催！	3	松竹大谷図書館へのご来館に関しましてのお願い	8
「中央区わくわくツアー」開催！	3	年末年始休館のお知らせ	8
図書館総合展「教えて！あなたの図書館の特別コレクション」初開催！	3	利用案内	8
東京都立大学生涯学習講座「松竹大谷図書館 歌舞伎・映画資料の知られざる魅力」開催報告	4-5		

「松竹大谷図書館ニューズレター」に掲載されている全ての内容の無断使用・転載・配信を禁止します

■11-12月展示「俳優 佐田啓二 生誕100年」＆資料紹介「今月の芝居から」

11-12月は、本年12月に生誕100年をむかえる俳優佐田啓二の関連資料を閲覧室にて展示します。

1947年に松竹映画『不死鳥』（木下惠介監督）で、名優田中絹代の相手役に抜擢され、華々しい映画デビューを飾った佐田啓二（1926-1964）。戦後昭和の日本映画を代表する、正統派二枚目の俳優として知られています。大ヒット作のメロドラマ『君の名は』三部作（1953-54年大庭秀雄監督）で名実ともにスターとなり、木下惠介、小津安二郎をはじめとした数々の名監督の映画に出演し、松竹大船の黄金期を支えました。今回はパンフレットやスクラップブックなどの多彩な映画資料、そして関連書籍・雑誌を展示します。

また、資料紹介「今月の芝居から」では、11・12月に、歌舞伎座や新橋演舞場など松竹の各劇場で上演される公演に関連する資料をご紹介いたします。



映画パンフレット
右）『集金旅行』（１９５７年）
左）『不死鳥』（１９４７年）

【開催期間】令和8（2026）年11/2～12/11 平日：10～17時（土日祝日、毎月最終木曜日 休館）
【開催場所】演劇・映画の専門図書館（公財）松竹大谷図書館 閲覧室／入館無料

■歌舞伎座筋書「歌舞伎タイムスリップ」

本年1月より始まった歌舞伎座筋書の連載「歌舞伎タイムスリップ」。第一期歌舞伎座が開場した明治22（1889）年をスタート地点として5年ごとに、当館所蔵資料からみえてくる当時の歌舞伎界を振り返る企画で、当館スタッフが写真選定と監修を担当しています。

9月は、昭和4（1929）年9月3日～9月24日の資料をご紹介いたしました。前年8月に大好評を博した、二世市川猿之助（初世猿翁）と六世大谷友右衛門による『東海道中膝栗毛』の続編となる『木曾街道膝栗毛』（木村錦花脚本）がこの年の8月にも上演されました。本作は大ヒットを記録し、翌9月まで異例の続演となりました。

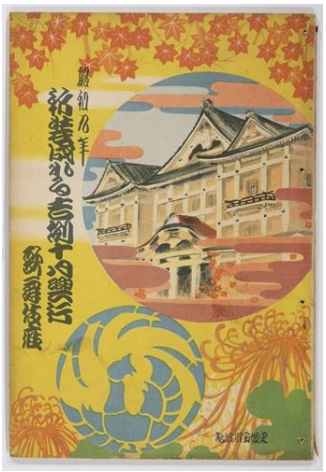


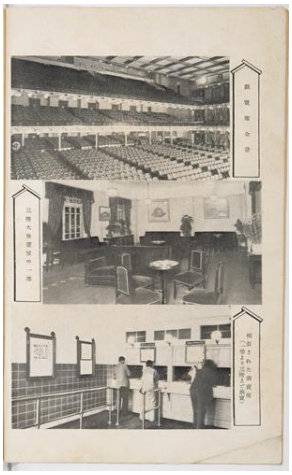
こちらは、連載では未掲載の筋書「俳優楽屋話」です。弥次郎兵衛を勤める猿之助は、「見た所の可笑い人では決して無いに違ひないが、する事には自然とトンチンカンがあつて可笑い事があるのだ。（略）俺（わし）から可笑い事を為（し）て見せやうと思つては、却つて見物衆の眼には可笑くは無い…」という三世中村仲蔵の芸談を引いて、「私も此コツで今度も此役を行き度いと思つて居ります。」と述べています。

なお、左ページには『唐人お吉』を演じた二世市川松蔦の談話が掲載されています。松蔦は初演以来、幾度もお吉を演じてきました。

こうしたインタビューページもデジタルアーカイブからご覧いただけます。関心をお持ちの方はぜひご一読いただけますと幸いです。

また、10月は昭和9（1934）年10月1日～10月25日の資料をご紹介しました。歌舞伎座では昭和9年、一ヵ月休場して劇場内外の全面改修を行い、10月は新装開場興行を行いました。下右の筋書表紙にも歌舞伎座の外観写真が掲載されています。





また、上右は歌舞伎座客席や三階の様子を撮影したページです。椅子や絨毯も新調され、大掛かりな改装が行われました。新装当時の歌舞伎座を知る手がかりとなる貴重な資料となっています。

一年間の連載もいよいよ12月までとなります。次回もどうぞお楽しみに！

「松竹大谷図書館ニューズレター」に掲載されている全ての内容の無断使用・転載・配信を禁止します

■歌舞伎座で話題！「組上燈籠」展示が継続中

2月から始まった、歌舞伎座の組上展示。今月11月は、『仮名手本忠臣蔵』の上演を記念し、組上燈籠「忠臣蔵討入」完成形を展示しております。



この組上は、十一段目にあたる四十七士が吉良邸に討入り、炭部屋に隠れていた上野介を引き出し本懐を遂げる「炭部屋」の場です。



こちらは、歌舞伎座1階お土産処「木挽町」でも人気の当館オリジナルグッズの文庫本カバー「忠臣蔵討入」のデザインのモチーフとなった組上です。観劇の思い出を形に残す記念として、ぜひいかがでしょうか。

また、10月にも、上演演目にちなんだ組上燈籠『盛綱陣屋』の完成形を展示いたしました。2月より継続してまいりましたこの特別展示が、歌舞伎座でのご観劇に彩りを添えるひとときとなり、皆さまと当館を結ぶきっかけとなっておりましたらうれしく思います。

■ナビトモイベント「【特別企画】専門スタッフがご案内する松竹大谷図書館の楽しみ方 ～歌舞伎編～」開催！

9月11日、当館の魅力をより多くの方に知っていただくため、初となる特別イベントを開催いたしました。本イベントは、松竹ブロードキャスティング株式会社が運営するシニア向けコミュニティサイト「ナビトモ」とのコラボレーション企画です。

今回のテーマは「歌舞伎」。当館が所蔵する膨大なコレクションの中から、貴重な台本やポスター、舞台写真などを厳選して展示・ご紹介しました。あわせて資料の見どころや、今後の観劇が更に充実する図書館の活用法、スムーズな資料検索のコツなどをご案内しました。



ナビトモ公式サイトのイベントリポートでイベントの様子を紹介していただきました。

https://www.navi-tomo.com/column/kochinavi/detail148.html

今後も、より多くの方に当館の魅力を知っていただく契機として、こうした連携企画を継続的に実施してまいりたいと考えております。

■「中央区わくわくツアー」開催！

中央区観光協会主催のまち歩きツアー「中央区わくわくツアー」の一環として、9月30日に当館の見学イベントが実施されました。本年のまち歩きのテーマは「中央区の伝統芸能にまつわるまち歩きと「松竹大谷図書館」で伝統芸能を学ぶ」でした。

江戸時代に初の幕府公認芝居小屋である中村座（当時の猿若座）が誕生し、江戸三座を中心に多くの劇場で賑わった中央区は、江戸歌舞伎発祥の地として知られています。今回はその歴史的な背景に合わせ、現在も歌舞伎座で上演されている歌舞伎関連の資料を中心に紹介しました。



■ 図書館総合展「教えて！あなたの図書館の特別コレクション」初開催！

図書館に関わるあらゆる立場の人々が集まる図書館総合展で、本年度より、自館の特徴的なコレクションを紹介する新企画が始まりました。当館からは「元祖ペーパークラフト！江戸のおもちゃ絵」として、所蔵資料である組上燈籠絵コレクションをご紹介しております。

〈教えて！あなたの図書館の特別コレクション〉
https://www.libraryfair.jp/feature/2026/102

様々な図書館の特別コレクションの情報を集約し、その存在を多くの人に知ってもらうための展示企画です。オンライン展示を行っていますのでぜひご覧ください！

「松竹大谷図書館ニューズレター」に掲載されている全ての内容の無断使用・転載・配信を禁止します

■ 東京都立大学生涯学習講座「松竹大谷図書館　歌舞伎・映画資料の知られざる魅力」開催報告

東京都立大学飯田橋キャンパス
第一回 2026/10/14（水）／第二回 2026/10/21（水）
武藤祥子

前号にて予告をいたしました「東京都立大学オープンユニバーシティ」の講座「歌舞伎・映画資料の知られざる魅力」を10月14日と21日の2回にわたって実施しました。この講座は「日本の魅力ある図書館シリーズ」の第3弾として、「日比谷図書文化館」「石川県立図書館」に続いてお声がけを頂き実現したものです。当館の所蔵資料の魅力について紹介した講座の内容をご報告いたします。

第1回「歌舞伎公演 資料の全貌」

第1回講座では、演劇・映画の専門図書館としての当館の紹介に続き、歌舞伎公演に関する各種資料の特性や歴史的変遷について解説しました。

歌舞伎興行の特徴と当館の役割

歌舞伎は毎月複数の演目が新たに上演される特徴があり、その都度、筋書やポスター、台本、舞台写真など多種大量の資料が制作されます。これら毎月生み出される多種の資料を逸することなく収集・整理し、利用者に提供する活動を維持することが当館の重要な役割である点を説明しました。

ポスター・番付の変遷

ポスターに関しては、1970年代から2000年代の歌舞伎座の四月興行のポスターを比較し、時代とともに写真が増加する変化がありつつも、春らしい色彩や興行の趣向を反映したデザインの形式が継承されている点を示しました。また、江戸・明治期にポスターの役割を果たした「辻番付」についてもデジタルアーカイブ画像を交えて形式や変遷などを解説しました。



歌舞伎座　明治22(1889)11月初開場時の　辻番付

筋書（プログラム）の掲載内容と変遷

歌舞伎座の筋書には、初日からの「初版」と舞台写真を掲載した「再版」が存在します。総連名やあらすじ、読み物のほか上演年表などが掲載されており、当館が上演年表作成や本年の連載記事の図版監修を担当していることを紹介しました。また、明治期の絵本役割や活版印刷の筋書の変遷や、時代による表紙や広告の内容の推移をデジタルアーカイブの画像を活用して提示しました。

歌舞伎写真資料の種類と変遷

写真資料では、役者を大きく撮影した「舞台写真」と、場面ごとの大道具配置や構成を記録する「舞台面」の違いを解説しました。スーパー歌舞伎などでは作品で100枚以上の写真が保存される例もあります。さらに、明治期のブロマイドや「彩色絵葉書」といった写真の変遷についても紹介しました。



歌舞伎の舞台写真の彩色絵葉書

台本の種類と役割

台本においては、印刷のままの台本に加え、変更箇所を手書きした「訂正台本」も保存しています。歌舞伎は主演俳優の「家の型」や演出変更に応じて再演ごとに台本が作られるため、当館では『義経千本桜』だけでも約260種類を所蔵しており、制作関係者が公演の度にこれら過去の台本を参考に新たな上演台本を作成している事をお伝えしました。また、手書き・謄写版・活版などの印刷方法の推移や「台帳」「書抜台本」「GHQ検閲台本」などの特殊な台本も取り上げました。

歌舞伎の脚本が読める活字資料とデジタルアーカイブの利用方法

台本以外に脚本を読める資料として『日本戯曲全集』『名作歌舞伎全集』などの全集や作家別の全集を紹介しました。さらにご自宅から歌舞伎の資料を検索・閲覧できる「演劇写真検索閲覧システム」や「芝居番付検索閲覧システム」など当館のデジタルアーカイブの具体的な検索方法を案内しました。

（次ページへ続く）

（前ページより続く）

第2回「映画作品 知られざる舞台裏」

第2回講座では、松竹映画の歴史を踏まえ、ポスターやプレスシート、写真などの宣伝資料から、台本、パンフレットなど、多岐にわたる映画資料の特徴と変遷について解説しました。

ポスター・ロビーカード

昭和期の映画会社直営時代の映画館では、シルクスクリーン印刷でB2縦半分サイズの「スピードポスター」や「写真ニュース」、「立看板ポスター」など多彩なポスターが宣伝において重要な役割を果たしました。また、厚紙に印刷した掲示用の写真資料「ロビーカード」なども映画会社直営時代の映画館ならではの宣材です。昭和期のポスターや宣材を中心に、1940年代から2000年代のポスターを紹介しました。



「あの橋の畔で」（1963年）スピードポスター

スチール写真とブロマイド

広告・マスコミ用に撮影される「スチール」や「ブロマイド」のほか、大正末期から昭和初期の歌詞付きスチールなど、当時の流行と結びついた写真資料を紹介しました。


「浪花小唄」(1929年)
歌詞付スチール写真

パンフレットの歴史とミニシアターのパンフレット

戦前は各劇場が無料プログラムを配布していましたが、昭和22年(1947年)頃から作品別の有料パンフレット販売へと変化しました。講座ではミニシアター系映画館の特色あるパンフレットを劇場ごとにご紹介しました。

シネマ歌舞伎と記録映画の継承

「シネマ歌舞伎」のパンフレットは舞台の筋書とは別に制作されるため、当館では双方を比較できる利点をお伝えしました。また、当館で管理している歌舞伎記録映画の資料について、日本人撮影の現存最古の映画『紅葉狩』の資料や、小津安二郎監督の『鏡獅子』については、資料のほか、クラウドファンディングのご支援により4Kデジタル修復を実施した、貴重なフィルムを未来へ継承する取り組みについても紹介しました。

映画台本と検閲

製作過程で改稿を重ねた複数種の台本や、映画の最終完成形を記録する「完成台本」について解説しました。また、映画台本の時代を遡って、戦前の内務省による風俗・道徳面に対する検閲と、戦後のGHQによる民主主義推進のための審査について解説しました。

スクラップブック・戦前資料の調査とシナリオ資料

映画製作・封切当時の新聞・雑誌記事、広告、ロケ取材などが貼り込まれた、宣伝部作成のスクラップブックからは貼り込み資料のご紹介のほか、経年劣化という保存上の課題もお伝えしました。


「夏祭り三度笠」(1951年)スクラップ

独自の検索システム（OPAC）の仕組み

講座の締めくくりとして、当館の検索システム（OPAC）での検索方法のほか、検索システムで実施している、俳優の改名や別名に対応する同義語設定や、再演や再映の際の別タイトルを検索するための統一タイトルの入力など、利用者が目的の資料へ円滑にたどり着けるための工夫を解説しました。

各回の最後には質疑応答の時間を設けました。

Q：館内は全て閉架式ですか？

A：全て閉架式ですが、閲覧室の月替わりの「ブックトラック展示」の資料は手続き不要で閲覧できます。

Q：歌舞伎の雑誌はいつ頃のものからありますか？

A：明治12年創刊の『歌舞伎新報』をはじめ、明治33年創刊の『歌舞伎』明治40年創刊『演芸画報』やその後の『演劇界』など、明治初期からの雑誌を所蔵しています。

Q：他の演劇・映画系資料館との違いや役割分担はありますか？

A：館ごとに所蔵資料の特徴やコレクションの時代が異なります。各館で連携し、相互紹介や寄贈資料の共有を行っています。

今回の講座では、当館が所蔵する歌舞伎と映画の資料の魅力や活用の広がりをお伝え出来る貴重な時間となりました。ご参加いただいた皆様、そして開催にあたり多大なご協力をいただきました東京都立大学の関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

「松竹大谷図書館ニューズレター」に掲載されている全ての内容の無断使用・転載・配信を禁止します

新着資料案内 （ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします）

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系9月演劇公演資料◆　　○ … 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『春調娘七種』		○	○	○
	『三社祭』		○		
	『ひらかな盛衰記』	○	○		
	『雛鶴三番叟』	○	○		
	『伊賀越道中双六 沼津』	○	○		
	『銘作左小刀 京人形』	○	○		
	『一條大蔵譚 奥殿』	○	○		
新橋演舞場	『リア王』		○	○	○
南座	『流白浪燦星 碧翠の麗城』	○		○	○
博多座	『口上』			○	
	『三曲糸の調べ』				
	〈映像〉夢二慕情				
	『長崎十二景』	○			
御園座	『坂東玉三郎 衣裳の魅力と美の世界』				

◆松竹系10月演劇公演資料◆　　○ … 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『湧昇水鯉滝 鯉つかみ』	○		○	○
	『義経千本桜 川連法眼館』	○			
	『近江源氏先陣館 盛綱陣屋』	○			
	『山帰強桔梗』				
	『義経千本桜 渡海屋・大物浦』	○			
	『屋敷娘』				
	『近江のお兼』				
新橋演舞場	『IMPACT26』			○	○
	『くらま会』			○	
	『錦会』			○	
南座	『其俤対編笠 鞘當』	○		○	○
	『与話情浮名横櫛 源氏店』	○			
	『歌舞伎十八番の内 勧進帳』	○			
	『義経千本桜 鳥居前』	○			
	『英執着獅子』				
	『歌舞伎十八番の内 七つ面』	○			
	『ご挨拶』				
	『荒事 大力天無双』	○			
平成中村座	『初帆上成駒宝船』	○		○	
	『仮名手本忠臣蔵 山科閑居』	○			
	『連獅子』				
	『御存 鈴ヶ森』	○			
	『助六曲輪初花桜』	○			
御園座	『口上』				
	『壽御園座花見踊』				
	『藤娘』				
	『火の鳥』	○			

◆他社演劇公演資料(7月-10月）『国立劇場第九〇回雅楽公演』北とぴあさくらホールプログラム/プリエールプロデュース『父よ！』吉祥寺シアタープログラム/ムシラセ第17回公演『煙の汽水域』下北沢小劇場B1プログラム/紀伊國屋書店創業100周年記念公演『わたしの書、頁を図る』紀伊國屋ホールプログラム/ラッパ屋第51回公演『特別な情熱』紀伊國屋ホールプログラム/劇団「俺は見た」第八回公演『他人と一緒に住むという事』サンモールスタジオプログラム/アル☆カンパニー特別公演『その後、火を焚いて踊ろう』SPACE雑遊プログラム/朝倉伸二プロデュースvol.4『ひとり芝居二本立て～Solo comedy double bill～』浅草九劇プログラム/JACROW#39『隔たる』シアタートップスプログラム/ASPイッツフォーリーズ公演『ミュージカル ピエタ』地方巡業プログラム、台本/ミュージカル『ゴースト』シアタークリエプログラム /『New HISTORY COMING ARENA LIVE The Imperial Theatre Symphony』東京国際フォーラムホールAプログラム/『第183回文楽公演』国立文楽劇場プログラム/『Bunraku Summer Festival』国立文楽劇場プログラム/『第36回上方歌舞伎会』国立文楽劇場プログラム/『第29回文楽素浄瑠璃の会』国立文楽劇場プログラム/尾上右近自主公演『第十回研の會』明治座プログラム/『紫薫 SHIKUN』セルリアンタワー能楽堂プログラム/パルコ・プロデュース2026『髪結いの亭主』新国立劇場小劇場プログラム/『第三十二回稚魚の会・歌舞伎会合同公演国立劇場歌舞伎俳既成者研修発表会』浅草公会堂プログラム/『第二十五回音の会 国立劇場歌舞伎音楽既成者研修発表会』浅草公会堂プログラム/『国立劇場第五八回文楽鑑賞教室』江東区文化センタープログラム/『第339回令和8年10月歌舞伎公演』新国立劇場中劇場プログラム/劇団俳優座『ガリレイの生涯』シアターXプログラム、台本/『いつかアイツに会いに行く BEYOND THE MOON』博品館劇場プログラム/T1project Musical『缶詰工場の秘密 The Secret Of Cannery』博品館劇場プログラム/『スナック・モブキャラ』博品館劇場プログラム/『キングダムII-継承-』東京建物Brillia HALL（豊島区立芸術文化劇場）プログラム/ミュージカル『民王』シアタークリエプログラム/劇団民藝『証』紀伊國屋サザンシアタープログラム/KAAT×阿佐ヶ谷スパイダース『ジャングル』神奈川芸術劇場大スタジオプログラム/『ラブ・演劇博-こちらの演劇、とおくのまちから。-』吉祥寺シアタープログラム/せんがわ劇場芸術監督公演『雲のピール』せんがわ劇場プログラム/名取事務所公演『追熟しない果実』吉祥寺シアタープログラム/ばぶれるりぐる第7回公演『ほとびる屋上』三鷹市芸術文化センター星のホールプログラム/道産子と越後人第3回公演『情熱とバッドエンド』下北沢OFF・OFFシアタープログラム/ONEOR8公演『台所の女たちへ』ザ・スズナリプログラム/月波兎第5回公演『おやじの瓢箪』中野ザ・ポケットプログラム/Mido Labo vol.21『Silent Night～沈黙の夜～』SPACE雑遊プログラム/劇団papercraft第13回公演『神のみぞ知る死』シアタートラムプログラム/大森カンパニープロデュースvol.58『更地にイモ欽 そして歌～更地23～』下北沢小劇場B1プログラム/空晴第25回公演『先生の部屋、父の部屋』下北沢OFF・OFFシアタープログラム/劇団道学先生『野球、油津、さだ、親父』ザ・スズナリプログラム/オーガミッツ旗揚げ公演『同じ穴のムジナ』下北沢シアター711プログラム/ツギタシ第一回公演『ソラ使っちゃって』シアタートップスプログラム/名取事務所公演『東京ブギウギと鈴木大拙』本多劇場プログラム/unrato＃14『夢去りて、オルフェ』東京芸術劇場シアターウエストプログラム/劇団かもめんたる第16回公演『ピノキオの元カノ』本多劇場プログラム

◆映画資料◆（順不同）『八つ墓村』パンフレット、ポスター、プレス/『ファーストボイス 私たちの逆転裁判』パンフレット、ポスター、プレス/『最終楽章 響け!ユーフォニアム 後編』パンフレット、ポスター/『どこよりも遠い場所にいる君へ』パンフレット、ポスター/『映画 ひつじのショーン かぼちゃ畑の怪物!』パンフレット、ポスター/『白鳥とコウモリ』パンフレット、ポスター、プレス/『ヤマトよ永遠に REBEL3199 第七章 虹色の輪廻』ポスター

◆映画パンフレット◆（順不同）『超かぐや姫!』『逃げろお嬢さん』『オデュッセイア』『ディスクロージャー・デイ』（次ページへ続く）

（前ページより続く）『ホークアイ』『踊る大捜査線 N.E.W. メトロポリスを駆け抜けろ!』『我々は宇宙人』『アベンジャーズ エンドゲーム 第2版』『スワロウテイル 4Kリマスター』『わたしの知らない子どもたち』『見上げてごらん』

◆演劇雑誌◆（順不同）『Confetti』2026年October,November/『KENSYO』Vol.142/『MEG WEST』Vol.36/『SePT倶楽部 information』2026年4月号/『the座』132号/『あぜくら』2026年8月号,9月号,10月号/『えんぶ』2026年10月号/『ほうおう』2026年11月,12月号/『ジョイン』2026 Jul./『ステージぴあ』2026年9+10月号/『ステージぴあ関西版』2026年9月+10月号/『テアトロ』2026年10月号,11月号/『ミュージカル』2026年5月-6月号,9月-10月号/『ラ・アルプ』2026年10月号,11月号/『演劇博物館館報』Vol.125/『喝采』2027年1月,2月/『劇評』第54号,第55号/『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』20号/『大向う』令和8年9月号,10月号/『長唄』139号/『東京芸術劇場です』Vol.54/『日本照明家協会誌』2026年9月号,10月号/『日本舞踊』78巻10月号,11月号/『悲劇喜劇』2026年11月号/『文化座』210号

◆映画雑誌◆（順不同）『FLIX』2026年12月号/『NFAJプログラム』No.76,No.77/『SCREEN』2026年11月号,12月号/『TVガイド』2026年9/11号,9/18号,9/25号,10/2号,10/9号,10/16号,10/23号,10/30号/『おとなのデジタルTVナビ』2026年11月号,12月号/『とぶ!ぴあ』September 2026,October 2026/『キネマ旬報』2026年10月号,11月号,増刊キネマ旬報NEXT Vol.72,Vol.73/『シナリオ』2026年10月号,11月号,12月号/『シナリオ教室』2026年9月号,10月号,11月号/『ドラマ』2026年10月号,11月号/『ピクトアップ』2026年12月号/『ロケーションジャパン』2026年10月号/『映画テレビ技術』2026年10月号,11月号/『映画時報』2026年8月号,9月号/『映画秘宝』2026年11月号,12月号/『日経エンタテインメント!』2026年10月号,11月号/『文化通信ジャーナル』2026年10月号,11月号

資料提供（2026年9～10月）

※許可を得た方のみ掲載しております

［展示］「Japan and me.日本の美と技を未来につなぐ「阪急うめだ本店×歌舞伎の特別企画 KABUKI EVOLUTION」」2026年10月21日～11月9日阪急うめだ本店1階コンコースウィンドー 『菅原伝授手習鑑 車引』『連獅子』『京鹿子娘道成寺』台本を提供

［出版］近藤良英著『日本アニメ黄金時代 栄光の80年代劇場アニメ』2026年10月1日プレジデント社 「アニメ新世紀宣言」スチール写真を提供

［プログラム掲載］歌舞伎座「秀山祭九月大歌舞伎」2026年9月 『伊賀越道中双六 沼津』初世中村吉右衛門スチール写真、連載「歌舞伎タイムスリップ」に昭和4年9月歌舞伎座筋書・『演芸画報』昭和4年9月・『唐人お吉』スチール写真を提供／歌舞伎座「錦秋十月大歌舞伎」2026年10月 連載「歌舞伎タイムスリップ」に昭和9年10月歌舞伎座筋書・『演芸画報』昭和9年11月・『色彩間苅豆』スチール写真を提供

［放送］「やりすぎ都市伝説 2026秋直前SP」2026年9月25日テレビ東京 明治24年6月歌舞伎座筋書を提供

［上映］「『映画を輝かせるために 蓮實重彦 山田宏一 山根貞男 映画談義集成』刊行記念特集」2026年9月26日～10月23日シネマヴェーラ渋谷 『マリヤのお雪』を提供

［その他］令和8年度なにわ歴博講座「昭和モダンと少女歌劇」奥本未世 2026年9月6日大阪歴史博物館 『楽劇』昭和6年10月・昭和8年4月を提供

新たに資料をご寄贈くださった方々（敬称略・順不同／2026年9月まで）

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、東宝株式会社ライツ事業部、株式会社日本舞踊社、協同組合日本シナリオ作家協会、シナリオ・センター、こまつ座、文学座、大滝理恵、若林さだ吉、文京ふるさと歴史館、劇団青年座、新国立劇場情報センター、シアタークリエ、劇団銅鑼、有限会社合同通信社、樽松大剛、公益社団法人日本照明家協会、国立劇場、ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ、キネマ旬報社、沼上清、（株）近代映画社、明治座、おとなのデジタルTVナビ編集部、神奈川県演劇連盟、銀座百店会、劇団俳優座、一般社団法人関西常磐津協会、神戸女子大学古典芸能研究センター、丸善雄松堂株式会社、坪内逍遥研究会、公益社団法人日本劇団協議会、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、国立映画アーカイブ、劇団民藝、合同会社かかし、株式会社文学座、弦屋光渓、国立歴史民俗博物館、博物館明治村、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部、公益財団法人日本近代文学館

ありがとうございました

訃報

2000年より理事として、また2025年からは評議員として、当財団の運営と図書館の活動に多大なるご尽力を賜った渡辺保先生が2026年9月9日に逝去されました。これまで執筆された数多くのご著書は出版の折にご恵贈くださり、当館をお支えいただきました。

また、(公財)昭和池田記念財団と縁を繋いでいただき、2012、2013年の2度にわたり助成金をいただく事にお力添えを賜りました。ここに生前のご厚誼に深く感謝いたしますとともに、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

公益財団法人松竹大谷図書館

＜渡辺保先生 主な著書＞

1974年『女形の運命』芸術選奨新人賞
1982年『俳優の運命』河竹賞
1982年『忠臣蔵 もう一つの歴史感覚』平林たいこ文学賞、河竹賞
1986年『娘道成寺』読売文学賞
1994年『昭和の名人 豊竹山城少掾』吉田秀和賞
1994年『四代目市川団十郎』芸術選奨文部大臣賞
1997年『黙阿弥の明治維新』読売文学賞
2013年『明治演劇史』河竹賞

「松竹大谷図書館ニューズレター」に掲載されている全ての内容の無断使用・転載・配信を禁止します

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）令和8[2026]年9-10月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社
株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹撮影所
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ナビ株式会社
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ
新橋演舞場株式会社

どうもありがとうございます

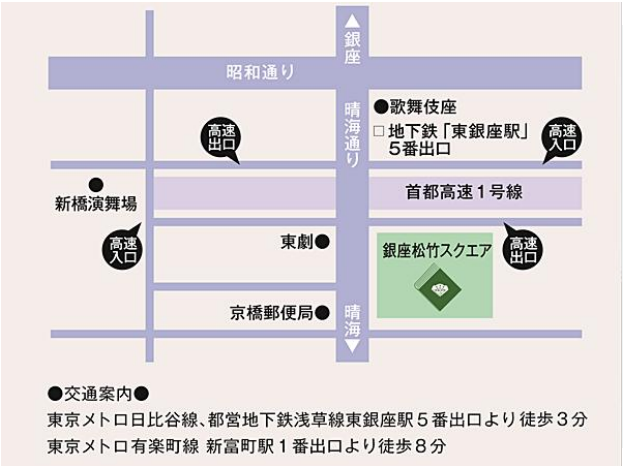
松竹大谷図書館へのご来館に関しましてのお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。
随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認ください。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

《現在のご利用について》
●開館時間　10:00～17:00　※ご予約なしでご利用いただけます
●閲覧予約サービス
閲覧席及び閲覧資料の事前予約ができますので、ぜひご利用ください。
松竹大谷図書館　03（5550）1694（平日10時～17時）
●手指消毒用のアルコールをご用意しております。
《ご予約について》
★10時から17時まで、毎正時より１時間単位でご利用いただけます。
★お名前、人数、ご希望日時（〇月〇日〇時より〇時まで）、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせください。
★資料は予約優先になりますので、ご利用いただけない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：https://lib-shochiku-otani.libraryexpert.net/qf/
詳しいご利用方法はこちら：https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/current_usage_20240701/

年末年始休館のお知らせ
令和８年12月12日
～令和９年１月11日



●利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00／[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します／[閲覧]館内閲覧のみ
[入館料]無料／[コピーサービス(2025年9月1日改定)] 白黒1枚　50円, カラー1枚　100円　コピーサイズ：B5、A4、B4、A3　量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
●資料検索●https://lib-shochiku-otani.libraryexpert.net/qf/
●交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線　東銀座駅5番出口より徒歩3分／東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

公式HP　公式Facebook　公式Instagram　公式X

編集・発行：公益財団法人　松竹大谷図書館
〒104-0045　東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/